

通り200人近くの参加者があり、盛会でした。

「チーム医療の新たな展開を求めて」をテーマに掲げましたが、クリティカルパス展示7題、一般演題16題、リハビリ、NST、地域医療連携の3部門からの発表によるシンポジウムや「チーム医療、できますか?」と題した九州大学大学院医療システム学教室教授 信友浩一先生の特別講演がありました。信友先生は、「チーム医療においては、それぞれが役割を自覚し、患者さんの声に耳を傾け、患者さんの視点に立った医療を心がけることが大切である。」と述べられ、チーム医療のあり方を今一度考え直すいい機会となりました。

私たち医療従事者は、日常の臨床ばかりでなく、こうした学会や研究活動を通して、患者さんの健康維持・回復や、住民の皆様のより良い生活に寄与していかなければなりません。

次回の当番世話人は、中津市民病院副院長の松尾進先生です。

第2回秋田県地方会

代表世話人：市立大森病院院長 小野 剛

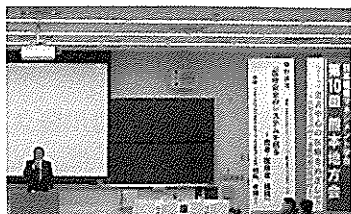
第2回秋田県地方会を平成20年3月8日(土)に秋田市文化センターで開催しました。あいにく悪天候でしたが55名の方々に参加していただきました。

今回は、「地域連携クリティカルパスの現状と対応」のテーマで秋田県における地域連携クリティカルパスの現況に焦点を当て討論を行いました。内容は、県内医療機関に対して行った「地域連携クリティカルパス」に関するアンケート調査結果報告を行った後、パネルディスカッションとして県内4病院の代表の方々からテーマにそった発表をしていただき参加者全員で討論を行いました。最後に特別講演として青森県健康福祉政策課の館田菊子さんに「青森県における地域連携クリティカルパスの開発と普及」と題して先進的な取り組みを発表していただきました。今回は秋田県健康福祉部医務薬事課の担当者3名にも参加していただき平成20年度から秋田県として予算をとって地域連携クリティカルパス開発普及に取り組むという発言がありました。

参加者は少なかったのですが行政の参加も得て大変有意義な地方会を開催することができました。今後も本学会の活動を通じて秋田県の医療レベル向上に努めてまいりたいと考えております。

第10回熊本地方会

当番世話人：熊本整形外科病院・熊本リハビリテーション病院理事長 丸田 秀一



会場風景

日本医療マネジメント学会第10回熊本地方会は、平成20年3月8日(土)に熊本学園大学を会場に、「《患者中心の医療を目指して》医療安全の向上 連携医療の質の向上」をメインテーマ

に行われ、300名を超える参加を頂き、成功裏に会を終

了する事が出来ました。

一般演題は30題の申し込みを頂き、4つのセッションに分け、且つ2会場に分かれて行い、実践的な発表、討論が行われました。

またクリティカルパス展示には21題の応募を頂き、限られた時間の中、活発な質疑が行われました。

シンポジウムでは、「地域連携クリティカルパスの現状と課題」をテーマに6名の演者から①地域連携パスの意義と基本、②急性期病院から、③亜急性期病院から、④維持期病院から、⑤地域連携クリティカルパス(脳卒中地域連携パス)の現状と課題 診療所から、⑥脳卒中地域連携パス(熊本方式)の運用状況についてそれぞれの立場から発表があり、活発な討議が行われました。

また特別講演として名古屋大学医学部附属病院 相馬孝博准教授より「医療安全のシステムを作る一患者・医療者・組織」と題してご講演頂きました。

最後に今回の地方会開催にあたり、ご協力頂いた多くの皆様に深く感謝致します。

(文責：熊本整形外科病院 情報システム課 田邊憲二)

第1回大阪支部総会

学術総会会長：大阪警察病院名誉院長 中尾量保

日本医療マネジメント学会大阪支部第1回学術総会は、平成20年3月15日(土)に財団法人大阪国際交流センターで332名のご参加をいただき開催されました。大阪支部発足後、初の学術総会となる今回は、宮崎理事長をお招きし「大阪支部発足にあたって-地域医療連携の現状と今後の展開-」をテーマにご講演をいただきました。また、パネルディスカッションでは赤穂市民病院院長 邊見公雄先生、大阪府医師会理事 中石滋雄先生、社団法人日本看護協会副会長 古橋美智子先生、九州大学大学院医療システム学教室教授 信友浩一先生、参議院議員、内科医師 梅村さとし先生をお招きし「診療報酬改定をめぐって」をテーマに活発な討論が交わされました。一般演題32題(DPC・電子カルテ、医療安全、医療連携、地域医療連携、その他)は大変熱のこもった発表をいただき、改めて医療マネジメントの必要性を実感した次第です。

学術総会参加者とご協力いただきました皆様には感謝を申し上げるとともに、今後とも引き続きご賛同並びにご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

(文責：日本医療マネジメント学会大阪支部 事務局 森脇将治)

< 誤記お詫び >

ニュースレター30号第5～6面、第3回和歌山地方会開催報告記事の文責者氏名の記載に誤りがありました。正しくは、(文責：国立病院機構和歌山病院事務部企画課業務班長 大西正典)になります。関係者ならび読者の皆さまには大変ご迷惑をおかけしました。訂正してお詫び申し上げます。